

2021

発行日 毎月1日 通算発行 418号

2



協会報



最近の完成工事から

都市計画道路 鳴和三日市線「中島大橋」の完成

～城下町金沢の面影を今に伝え、未来へつなぐ橋～

石川県県央土木総合事務所



《石川の工芸シリーズ④》

石川県立美術館蔵

金銀象嵌 猩々薄端

十一代 宮崎 寒雉【天保14(1843)年～大正4(1915)年】

制作年/明治15(1882)年 サイズ/口径47.5×高さ34.5cm 技法/鑄金
宮崎家は代々加賀藩の御用釜師として、主に茶の湯釜を作ってきた家柄である。本作品は、中国の想像上の動物で酒好きな猩々が支える大杯を薄端(※)に見立てたもの。地金はやや赤みがかった茶色の唐金(からかね)で、猩々の膝、袖、胴、前掛には金銀象嵌が施されている。

※薄端…広口の上皿の中央に生け口の筒のある金属製の花器のこと

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

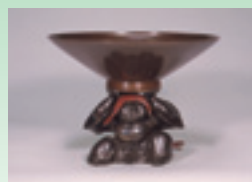
〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2021

2



◀石川の工芸シリーズ③▶
さんざん ぞうがんしよはじょうすぼた
金銀象嵌狸々薄端
十一代 宮崎 寒雉(みやざき かんち)

1	最近の完成工事から	
	都市計画道路 鳴和三日市線「中島大橋」の完成 ～城下町金沢の面影を今に伝え、未来へつなぐ橋～	
	石川県県央土木総合事務所	2
2	令和2年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.3	
	日本海・駒津 特定建設工事共同企業体	4
	令和2年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.4	
	株式会社丸西組	6
3	雇用改善コーナー	
	現場見学会感想文(石川県立羽咋工業高校)②	8
	令和2年度インターンシップについて	10
4	2020年度第3回 建設業景況調査(石川県版)	
	東日本建設業保証(株) 石川支店	11
5	地区協会コーナー	
	現場監督体験会&企業ガイダンスで地元建設会社をアピール!	
	～石川県立小松工業高校生との意見交換会を開催～	
	(一社)加賀建設業協会	12
6	会員リレーコーナー	
	◎◎株式会社白原組	13
7	今月の「輝き!」さん No.71	
	株式会社杉本工務店 坂口陽音さん	14
8	おすすめ 県政出前講座 vol.9	
	石川県の結婚支援 石川県健康福祉部少子化対策監室	15
9	協会だより	
	地区協会事務担当者説明会の開催	16
	委員会の開催	17
	土木委員会	
	役員会の開催	17
	土地改良委員会	
	第2回技術検討部会の開催	17
	広報・研修委員会	
	全体会議の開催	17
	建設青年委員会	
	正副委員長会議の開催	18
10	石川県土木施工管理技士会だより	
	JCMセミナー(DVD講習会)の開催	18
11	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催	
	令和2年度「私たちの主張」応募作品の紹介	
	「建設業で働く誇り」 株式会社吉光組 竹本悠華	19
	「地域の暮らしを守る影のHERO ～自己PRが苦手な人達～」 白山建設株式会社 田中陽人	20
12	業界時報	
	労働災害発生状況	21
	令和2年度 建設工事受注高調(元請)	21
13	会員の異動	22
14	県協会からのお知らせ	22
15	地区協会からのお知らせ	23
16	関係機関からのお知らせ	23

最近の完成工事から

都市計画道路 鳴和三日市線「中島大橋」の完成 ～城下町金沢の面影を今に伝え、未来へつなぐ橋～

石川県県央土木総合事務所

1 はじめに

都市計画道路鳴和三日市線（一般県道 金沢停車場北線）は、金沢市街地の交通を支える重要な幹線道路であるとともに、沿線には金沢市中央消防署や金沢東警察署が立地し、第1次緊急輸送道路に指定されるなど、災害時の緊急支援活動を支える重要な道路となっています。

このうち、二級河川浅野川をわたる中島大橋は、昭和29年の建設から約60年が経過し、老朽化が進んでいたことに加え、4車線で整備されている都市計画道路鳴和三日市線において、唯一の2車線区間であり、車道幅が狭く、交通のボトルネックとなっていたことから、平成26年度より4車線での架け替え事業に着手し、昨年11月に開通を迎える運びとなりました。



図-1 位置図



写真-1 架け替え前の混雑の様子

2 事業概要

路線名：都市計画道路 鳴和三日市線（一般県道 金沢停車場北線）

位置：金沢市昌永町～笠市町 地内

延長・幅員：L=280m、W=20m（うち橋梁部L=40.8m）

上部工形式：パイプレストレス方式PC単純I桁橋

下部工形式：逆T式橋台 2基

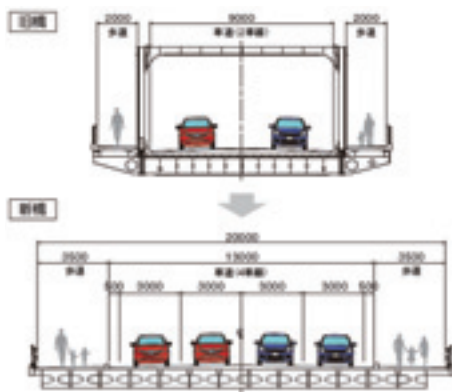


図-2 標準断面図



写真-2 新橋完成時の様子

3 新橋のデザイン

中島大橋周辺の地域では、藩政期に菅笠の笠市が開かれていたほか、浅野川を川舟で運んできた物資が荷揚げされた輸送拠点でもあり、製箔業が長く営まれるなど、地域固有の歴史や伝統が残されていることなどから、こうした地域の特性を後世に伝えていくため、地元の意見を伺いながら、菅笠をイメージした照明灯や川舟を形どった橋名板を親柱に設置するとともに、金箔を用いたレリーフを高欄に設置しました。



金箔を用いたレリーフにより「金沢箔」製造の地としての文化をアピール

「堀川揚場」で荷揚げした舟運の歴史を橋名板で表現



藩政期に金沢ブランドとして全国に流通した「菅笠」をイメージ

写真-3 新橋のデザイン

4 開通式

令和2年11月23日（月・祝）には、石川県の主催による「都市計画道路鳴和三日市線中島大橋開通式」が、知事をはじめ、国会議員や県会議員、金沢市長、地元代表者などの関係者列席のもと、執り行われました。閉式後には、世代を超えて末永く地元の方々に愛される長寿の橋となるよう、願いを込めて、地元堀川町の三代夫婦を先頭に渡り初めが行われました。



写真-4 開通式の様子（テープカット、渡り初め）

5 おわりに

中島大橋の完成により、安全・安心な通行が確保されることはもとより、北陸新幹線の金沢開業以降、本県の玄関口として賑わいを見せている金沢駅周辺において、交通の円滑化が図られることに加え、この中島大橋が加賀百万石の歴史情緒が感じられる、地域の新たなシンボルとして、多くの方々に末永く親しまれることが期待されます。

今後は仮橋の撤去を行い、その後、一部区間で残る無電柱化のための管路工事や、歩道工事等を行う予定としており、引き続き安全対策に努めていきたいと思っております。

最後に、これまでに多大なるご尽力をいただいた関係各位にこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

令和2年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.3

施工企業名：日本海・駒津 特定建設工事共同企業体

■工 事 名 都市計画道路 鳴和三日市線
街路整備（防災・安全）工事
（中島大橋 A2橋台工）

■工 事 分 野 橋梁工事

■施 工 場 所 金沢市京町～昌永町 地内

■工 事 概 要

橋梁下部工

旧橋撤去工 N=1基

橋台工（逆T式鉄筋コンクリート橋台 H=9.3m）

N=1基

基礎杭（場所打ち杭 φ1200 L=14.5m）

N=21本

■工 期 平成30年7月3日～令和元年7月31日

■推 薦 理 由

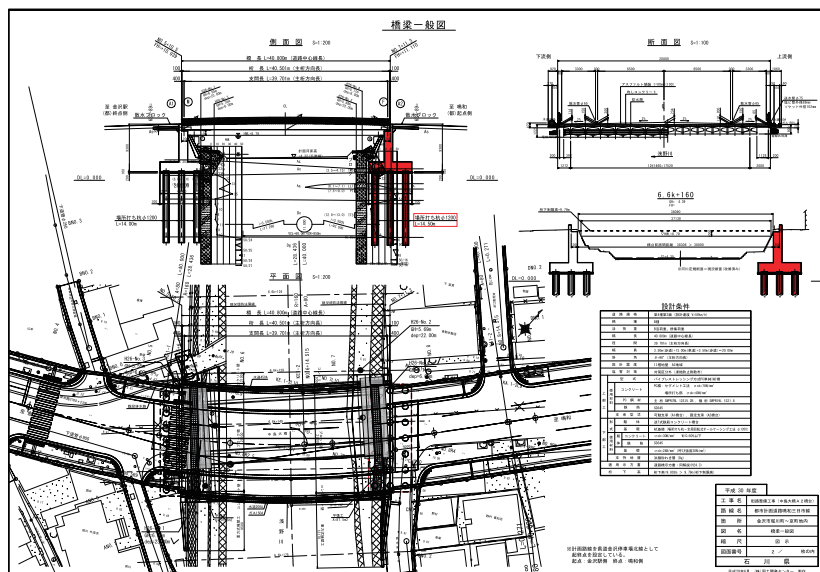
金沢市中心部の浅野川に架かる中島大橋の架け替え工事に係る橋梁下部工事であり、民家や病院が近接し、かつ、施工ヤードも限られる中での工事であった。こうした中、現場事務所前に意見・要望ポストを設置し、工事に対する意見収集を行ったほか、住宅地側への防音パネルの設置や場所打ち杭施工時の消音クラウン型ハンマーヘッドの使用など徹底した防音対策を実施するとともに、交通量調査に基づく資材搬入計画の立案など、随所に工夫が見られた。加えて、関連工事との綿密な工程調整や適切な工程・安全管理のもと、事故や苦情もなく工事を完成させた。



完 成（上空より）



完 成（正面）



橋梁一般図（中島大橋 側面図）



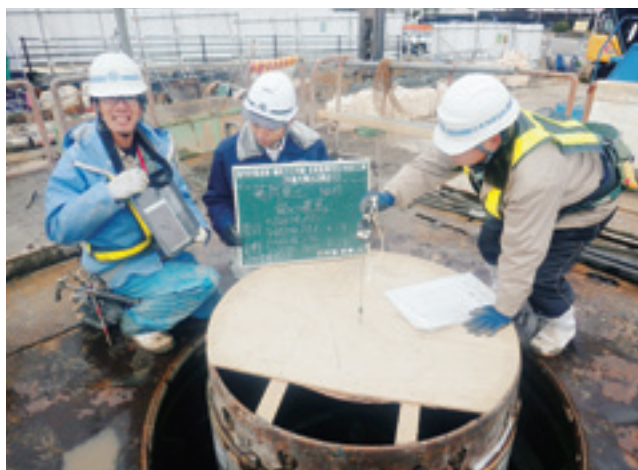
ワイヤーソーを使用し、既設橋台をブロック割り切断



切断された既設橋台を吊込み搬出



クラッシュパイラーを使用し鋼矢板打設



杭ナビを使用し、杭芯を毎回確認

■現場代理人のコメント



現場代理人
小倉康裕氏

この度は、名誉ある優良建設工事知事表彰を賜り誠にありがとうございます。
当現場は金沢駅兼六園口から金沢市鳴和につながる県道鳴和三日市線に位置し、施工箇所横は住宅及び切り廻し仮設橋がありました。当現場の問題は安全に大型工事車両を入退場させる為の進行方向の決定・統一並びに現場周辺住民の皆様方に対する振動・騒音の低減対策を検討・決定したのち着手する必要があったということです。工事関係大型車両の入場は金沢駅方向からとし、東警察署方面から来る車両に一時停止していただき、後進入場。退場時は左折するには切り廻し橋経路の形状上危険であるため交通誘導員の誘導のもと、右折（直進）で退場とし、工事関係者に決定事項を厳守するよう日々密に打合わせを行い徹底・実施しました。

現場周辺の皆様には日々の工事内容が解るよう週間工程表を配布し、重機移動で生じる振動は最小速度で移動し抑制、キャタピラーの下にゴムマットを敷設することで騒音を抑制、工事で最大の騒音が発生する既設橋台取壊しには、大型ブレーカを使用せずワイヤーソーを使用し施工するなど、安全と地域住民の皆様のことを考えて施工することに重点を置き施工しました。また、頻繁に通行する仮設橋は当工事による影響から偏位等が生じていないか日々点検・注意し作業を進めました。その結果、切り廻し仮設橋道上での車両及び歩行者の事故もなく、無事完成することが出来ました。

これもひとえに、当工事に関わった皆様方のご理解・ご協力があったの結果であると心より感謝を申し上げる次第であります。本当にありがとうございました。

令和2年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.4

施工企業名：株式会社丸西組

■工事名 令和元年度 基幹水利施設予防保全対策事業 南加賀地区 九龍橋川工区 排水路工事

■施工場所 小松市打越町 地内

■工事概要

排水路工 L=183.59m
(内訳) 表面被覆工 L=356.76m
ブロック積擁壁工 L=10.0m

■工期 令和元年7月5日～令和2年3月19日

■推薦理由

(工事の環境)

本工事は、築造から50年以上が経過した排水路の積みブロックを表面被覆工により長寿命化を図る水路補修工事である。水路の周辺は、住宅や県立小松工業高等学校が隣接しており、工事中の第三者への安全対策や濁水流出の防止など環境への配慮を必要とした。周辺住民や学校へは、戸別訪問によるきめ細かい説明により工事に理解を得るとともに、適切な安全対策が実施された。

(工事の難易)

当該水路の工事では、常時流量の確保及び周辺からの排水流入があり、適切な半川締切により必要な流下能力を確保するとともに、狭小な作業スペースで適切な施工管理の下に良好な出来形を確保した。

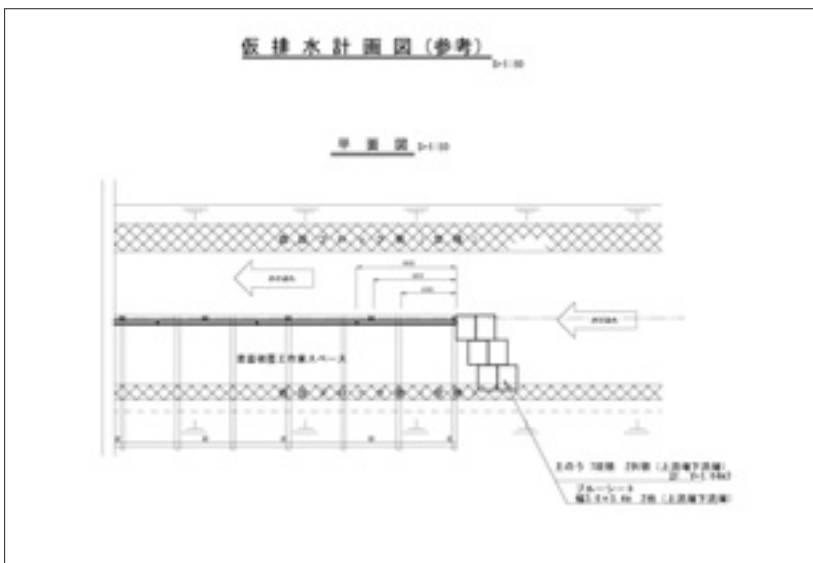
また、降雨時には排水量が増加するため、天気予報に留意した工程管理に努めるとともに、増水時には締切を解放した全断面通水により溢水被害を防止し、周辺環境の安全を確保した。

(出来ばえ)

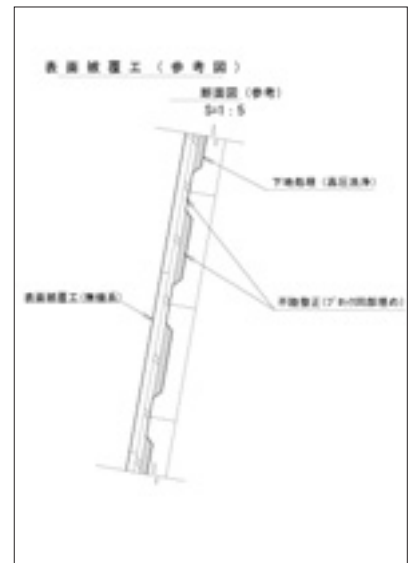
構造物の出来形の測定値がすべて規格値を満足しており、冬期施工であったが適切な安全管理、出来形管理、品質管理のもと、丁寧なコンクリート養生により出来ばえが優秀な工事である。



完成写真



仮設工（半川締切及び仮囲い）



表面被覆断面図



仮囲い設置



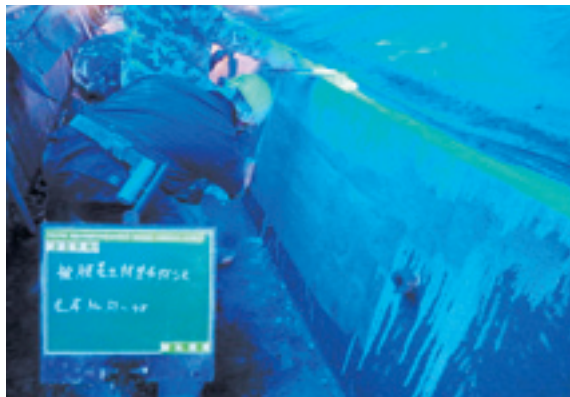
水抜孔設置（削孔状況）



補強材設置（ガラス繊維グリッド）



表面被覆（モルタル吹付状況）



表面被覆（被膜養生材塗布）



表面被覆給熱養生（ジェットファーンネス）

■現場代理人のコメント



現場代理人
熊本博之氏

この度、栄誉ある優良建設工事知事表彰を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
 本工事は、排水路の積ブロック護岸の両岸に表面被覆を行い、長寿命化を図る
 工事でした。約60mを1スパンとして半川縮切し、片側に単管を組立ててシート
 を張った仮囲いを設置して、下地処理（高圧洗浄）→水抜孔設置→不陸調整→補
 強材設置→表面被覆→目地設置を順に行いました。

表面被覆においては、繊維補強セメントを吹付けて左官工によるコテ仕上げで
 したが、1:0.3と勾配が急なことや普通コンクリートでないことから慣れるまで
 人工が多く掛かりました。また、増水により施工ができないだけでなく仮設材の
 復旧が必要なこともあり、仮囲いを設置していますが、雨が降ると排水パイプか
 ら流入することから天候を考慮した工程管理が必要でした。冬季養生には局部的
 な高温とならず全体的に暖くなるようジェットファーンネスを使用しました。

最後に、南加賀農林総合事務所、小松工業高校及び地域の生産組合の方々のご
 協力により安全に工事を完遂できたことを深く感謝申し上げます。

雇用改善コーナー

現場見学会感想文（石川県立羽咋工業高校）②

【見学場所】

○北陸新幹線小松駅高架橋他工事
（奥村組・加賀建設・江口組JV）

○手取川舟場地区工事
（中島建設(株)、真柄建設(株)、日本海建設(株)）

私は今回の見学で、新幹線のレールが敷かれるまでに、一車両の高架橋にかかる荷重やすべての車両がホームに入れる長さ、カーブを曲がる時の遠心力による傾きを感じないような高架橋の微妙な傾斜など沢山のことが計算されていて驚きました。手取川の堤防工事では、人の手によって造られていると思っていましたが、ほとんどAIの力を借りて、高さや傾斜、踏み固めるときの固さを計算していたので、AIの時代になったと感じました。人生最初で最後の経験をさせていただき、とても楽しかったです。

建設造形科建築コース 2年 猿田 亜美



建設造形科土木コース 2年 吉田 佳祐

北陸新幹線の高架橋の見学をさせていただきました。高架橋は、RC橋脚71基、RC橋脚6基、ラーメン高架橋21連、PPCT桁12連、RC場所打T桁橋89連、場所打杭791本、ホーム桁一式、保守用斜路一式で成り立つことが分かりました。

手取川の工事現場では、ICT重機が導入されていて丁張りがいらぬことも分かりました。機械が進歩し作業が効率良く進んでいくのだと思いました。貴重な体験ありがとうございました。

建設造形科建築コース 2年 吉田 桃子

現場見学に参加して普段の生活では滅多にできない貴重な体験をさせていただきました。北陸新幹線小松駅高架橋の現場では、工事内容のお話を聞いた後、実際に工事中の現場を見学しました。大規模な工事にも関わらず、完成に近い段階まで進んでいて作業している方達の力は素晴らしいと思いました。手取川の工事現場では、ブルドーザーなどに乗せていただき素敵な思い出になりました。多くの方達の力が集まって大きな建築物ができると思うと建築、土木の仕事は町を発展させる上で無くてはならない存在だと改めて感じました。

建設造形科土木コース 2年 宮川 広大

北陸新幹線小松駅高架橋を見学しました。RC橋脚やラーメン高架橋、RC連結橋脚、PPCT桁など様々な構造物で支えていることが分かりました。特別に高架橋の上ののぼることができ、人生、最初で最後になるかもしれないくらいの貴重な体験でした。

手取川の工事現場では、主にICT建設機械による施工について説明をいただきました。ブルドーザーやバックホウにICTを取り入れることで効率的に作業ができるようになり、品質管理も確実にを行うことができるようになるということが分かりました。



建設造形科建築コース 2年 玉川 拳聖

北陸新幹線の高架橋は、一生に一度かもしれない新幹線が走る前の上に登らせていただき、いつもは絶対に見ることができない線路の下を見ることができました。ただ単に、線路を敷いているだけではないということが分かりました。高架橋を造るときに、周辺の住宅の方々の迷惑にならないように、いろいろ配慮して作業をしているということを知り、とても大変だと思いました。

手取川の現場では、工事に使われる機械を見せていただきました。機械を見ることは今まで何回もありましたが、どのように動かしているのか全く分かりませんでした。今回、現場の方々の説明で動かし方が分かりました。

建設造形科土木コース 2年 金森 真央

小松市の北陸新幹線が通る線路の工事を見に行きました。線路が大きく迫力がありました。現場の方々がとても丁寧に説明してくださり、分かりやすく理解することができました。

能美市では、手取川の工事を見学しました。バックホウやローラー、ドローンの説明を聞きました。機械にデータを入れておけば制御することができて正確に施工することができるそうです。機械が進化していてとても感動しました。現場見学を通していろいろな経験をする事ができたので、今後の進路に役立てることができるよう勉強を頑張りたいです！



建設造形科建築コース 2年 高橋 光咲

今回の現場見学では、新幹線が通るところにのぼらせていただき、また重機に乗り説明を受けるなど貴重な体験をさせていただきました。小松駅の工事現場では、高架橋の上に大きなクレーンを乗せ工事をしていてとても驚きました。また、雨が降った時のために穴を空け、そこに管をつけて下に流すなどの対策がきちんとされているのを聞いて感銘を受けました。手取川の工事現場では、現代の情報技術を取り入れ工事していると説明を受けました。その他にも重機に乗せていただくなどとても良い見学になりました。

建設造形科土木コース 2年 水口 大輔

今回の現場見学では、北陸新幹線の工事と手取川での工事に使われている最新のICT技術を用いた機械の説明を聞かせていただきました。

新幹線の工事現場では、200tクレーンなど普段見ない機械を見ることができました。光ファイバーを通す溝を設けてあったり、線路の床に雨などを排出するための小さな穴が設けてあり、工事を円滑に進めるために工夫を凝らしていました。

手取川の現場では、ICT技術について学びました。衛星のレーザーによって丁張がいらす誤差はほぼなく掘削をすることができることに驚きでした。

建設造形科土木コース 2年 大葉 一貴

北陸新幹線が通る高架橋の工事現場はとても貴重な現場で、完成すると一生入ることのできない場所です。授業で習ったものが少なからずあったので、あのことかと思ってとてもたのしく勉強になりました。

手取川の急流河川対策工事の現場では、実際にバックホウやブルドーザーに乗せていただきました。現在の土木業界は、あらかじめ制作した三次元計測データによって機械が勝手に制御してくれるICT施工が主流になっています。

今回の現場見学を通して、授業では分からないところや学べないことまで丁寧に教えていただきました。

建設造形科建築コース 2年 竹本みいこ

北陸新幹線の高架橋の工事現場を見学させていただきました。そこで仕事をする際に大変なこと、気をつけなければならないことが沢山あることを知りました。他の電車が通っているため仕事を中断しなければならなかったり、別のことに配慮したりしていることにすごく驚きました。

手取川の工事現場では、沢山の重機があってそれらの説明をしていただきました。重機は動かすのが難しそうだと思っていたけれど沢山の機能がすべて機械できてとても感心しました。とても有意義な時間になりました。



(デザインコース：生徒作成)

建設造形科建築コース 2年 土肥 宏多

小松市の北陸新幹線高架橋工事と手取川の堤防の補強工事を見学した。

新幹線の工事現場では、なかなか見ることのできない高架橋の上の見学をさせてもらい、工事をするうえで落下事故などの危険性がある中、どんな状況でも安全第一に考えて仕事をするということを教えていただいた。手取川の現場では、沢山の重機に乗せてもらい大幅に技術が進歩していることを教えていただいた。

今回の現場見学で、普段は経験することのできない貴重な体験を沢山させていただいてとても感謝している。

建設造形科土木コース 2年 堂谷内沙織

今回の現場見学を通して、建設工事の規模の大きさや重要さが分かりました。

一つ目の北陸新幹線の現場では、レールを敷く前的高架橋に上りました。小松駅の周辺は在来線や住宅があるため、近隣への影響も常に考えなければならないそうです。また小松駅のホームは、白山をイメージした外装など地域の特色を活かしたデザインになっているそうです。手取川対策工事の現場では、ICTを使った重機を見せていただきました。ICTによって以前より、より正確に効率よく施工ができるようになったそうです。ICTの分野は、学校では詳しく学べないことなのでお話を聞けて良かったです。

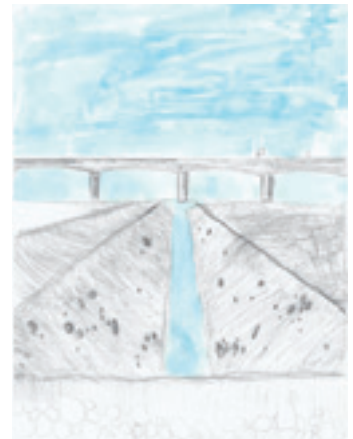


建設造形科土木コース 2年 北出 唯都

今回の現場見学で現場の施工の流れや使う重機をよく知ることができました。新幹線が通る線路がどのように施工されるのかずっと気になっていたのでもっともいい機会になりました。線路はどこでも施工していいと思っていましたが、建築限界などいろいろな法律の中で施工していて難しいと思いました。

手取川の現場では、ICTを搭載した重機の説明を聞きました。どんなにめちゃくちゃな操作をしても決めた場所から動かないというのがすごいなと思いました。

今回の現場見学は、現場で働こうと思っている自分にはとてもいい機会になりました。



(デザインコース：生徒作成)

令和2年度インターンシップについて

令和2年度の県内工業系高校のインターンシップは、コロナ禍の関係もあり、羽咋工業高校のみの実施となりました。

建設産業の担い手不足が叫ばれ、特に若年者の確保が急務となっておりますが、平素より若年建設労働者の現場教育の重要性と必要性に深く理解を示され、特に本年度はコロナ禍の中、生徒の受入れを快く承諾いただきました企業の皆様方に心より感謝申し上げます。本事業における総括として本稿に生徒の受入れ状況を記載し、あらためて受入れ企業の皆様方に敬意を表させていただきます。また、インターンシップの受入れに関し、仲介の労をいただきました地区協会の皆様方に心よりお礼申し上げます。

石川県立羽咋工業高校 建設造形科 2年生 25名

令和2年10月13日(火)～10月15日(木)

建築コース	
表 那樹	免田産業(株)
土肥 宏多	
小山ともみ	アオイ建設(株)
玉川 拳聖	
戸澗 悠希	
猿田 亜美	(株)大窪工務店
吉田 桃子	
曾山 和	(株)杉本工務店
竹本みいこ	(株)戸田組
寺井 惇	
前田 凜	
高橋 光咲	石田工業(株)

土木コース	
板坂 龍心	小倉建設(株)
川原 結佳	
北出 唯都	
野口 留奈	
大葉 一貴	南建設(株)
金森 真央	
池田 盛隆	石田工業(株)
堂谷内沙織	和田内潜建(株)
藤井 大空	姥浦建設(株)
本多 莉緒	(株)表組
水口 大輔	(株)田村工業
宮川 広大	(株)杉本工務店
吉田 佳祐	勝二建設(株)

2020年度第3回 建設業景況調査（石川県版）

東日本建設業保証(株) 石川支店

<概要>

- 官公庁工事は、「減少」傾向が強まっている。
来期は、「減少」傾向が強まる見通し。
- 資材の価格は、「上昇」傾向が弱まっている。
来期は、「上昇」傾向が続く見通し。
- 地元建設業界の景気は、「悪い」傾向が続いている。
来期は、「悪い」傾向がかなり強まる見通し。

【今期：前期（2020年7～9月）に比した今期（2020年10～12月）の状況】

【来期：今期（2020年10～12月）に比した来期（2021年1～3月）の状況】

項 目	前期	今期		来期		
		B.S.I.値	推移方向 (前期比)	B.S.I.値	推移方向 (今期比)	B.S.I.値
(1)業況等	地元建設業界の景気※	▲13.0	↘	▲13.5	↘	▲23.5
(2)受注	受注総額※	▲12.5	↘	▲13.5	↘	▲22.5
	官公庁工事※	▲7.5	↘	▲14.5	↘	▲23.5
	民間工事※	▲18.0	↗	▲16.5	↘	▲23.5
(3)資材	資材の調達※	0.5	↗	0.5	↘	▲1.5
	資材の価格	10.0	↘	5.0	↗	5.0
(4)労務	建設労働者の確保※	▲15.5	↗	▲14.0	↘	▲16.5
	建設労働者の賃金	12.0	↘	10.0	↗	10.0
(5)収益	※	▲7.0	↘	▲9.0	↘	▲18.5

(注)・B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。
 ・B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降の傾向を示す。
 ・表中の※印は、季節調整項目を示す。

【B.S.I.の見方】

B.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス=景況判断指数)は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。以下の計算式により数値化して求められます。

$$\frac{(\text{「良い」}と回答した企業割合 - \text{「悪い」}と回答した企業割合)}{2} \times 1/2$$

※「変わらず」は除いて計算

お問い合わせ先

東日本建設業保証(株) 石川支店 TEL: 076-242-1231

地区協会コーナー

現場監督体験会&企業ガイダンスで地元建設会社をアピール！ ～石川県立小松工業高校生との意見交換会を開催～ (一社)加賀建設業協会

昨年12月17日(木)に、小松能美建設業協会及び加賀建設業協会の両建設青年委員会が主体となって、小松工業高校建設科2年生との意見交換会が開催されました。

昨年1月以降、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、市民生活への影響はもとより児童生徒を預かる教育現場でも感染防止の観点から各種学校行事が中止へと追い込まれていました。

小松工業高校も同様で、毎年恒例のインターンシップや現場見学会などが早々と中止されていたのですが、進路決定の参考のため是非にとの生徒の意向を受け今回開催の運びとなりました。



当日は密を避けるため2年生40名が8グループに分かれ、「現場監督体験会」と「企業ガイダンス」と題した2個所の離れた教室をローテーションする流れで、教室の出入口及び廊下側の窓を開けたまま、又、一定時間ごとに屋外側の窓を開けて換気しながら行われました。参加した企業は小松能美協会から12社、加賀協会から4社の合計16社で、地域を支える地元建設業の魅力を伝えようと、各企業担当者らが工夫を凝らし説明にあたりました。

「現場監督体験会」では、工程管理、安全管理、品質管理（土木）、品質管理（建築）の4つのブースが設けられ、資料や体験談を基に現場監督の仕事内容について説明を受けました。

「企業ガイダンス」では、参加企業の生立ちや歴史、休日や福利厚生、会社の雰囲気などのほか、除雪や災害対策、地元地域における社会貢献活動などについても説明を受け、生徒たちは時折メモを取りながら熱心に聞き入っていました。

なお途中、建設科1年生が見学を訪れ、1年後に自分たちが受けるであろう意見交換会をしっかりと目に焼き付けていました。



全ての説明が終了した後、生徒代表数名による感想の発表に移りましたが、「建設業の仕事が分かったこと」、「地元企業の特徴を知れたこと」、「将来を考える機会を得れたこと」など、どの生徒からも参加企業に対し感謝の言葉が述べられました。



現在のコロナ禍では、地域間の移動や外出などが制限され、経済活動が停滞し生活基盤さえ揺らぐ状態となっていることから、今まさに就職や進学などの進路を決めなければならない若い人たちにとっては、家族が住む地元企業に就職するという思いが強くなっているのではないかと改めて感じました。

会員リレーコーナー

⑳ 株式会社白原組
(所在地：石川県小松市原町イ8)



SHIROHARA

社章

弊社は、昭和38年4月に私の祖父である白原鳳基が、小松市原町で土木工事業を創業したのが始まりです。創業当時は、建築工事の下請負で土工事を主な生業としていました。昭和45年4月には、旧能美郡根上町（現能美市浜町）に営業所を設け、今の営業基盤に繋がっています。祖父亡き今でも、祖父をよく知る方々との会話の中で「そこのじいさんは本当に良くしてくれたんや」とよく耳にし、改めて祖父の偉大さやエネルギーを感じます。

2代目である私の父、白原永健は「脱下請け」の思いで公共工事の元請負に尽力してきました。私が幼少の頃は、家族で旅行に行った記憶がなく、友達の家族を羨ましく思う時もありました。今思えば、学校が休みの時に父に連れ立って行った工事現場が、父との大切なコミュニケーションの場所であったのだと思います。

昨年12月より代表取締役を拝命した私ですが、代替わりという1つの大きな節目を機に、社章を一新しました。中央に向かい合った2羽の鳥には「誠実さ」と「情熱」。また、2羽を包み込む2つの輪には「地域」と「家族」の意味を込めました。大空を自由に飛び回る鳥のように、広い視野を持って地域に根差す会社として、地域を見守り共に



成長していくこと。そして会社とは、働く人たちにとって喜びを分かちあえる家のような存在であること。この2つが、今後私が大切にしていきたいことです。

現在10名の社員と共に、日々の業務を頑張っています。下は20代から上は70代まで幅広い年代の方がいます。“社員は家族である”という思いから、一昨年までは、家族懇親会と称して、社員のご家族を招いてBBQや食事会などを開催していました。そこには、ご家族にも弊社の職場の雰囲気や、どんな人と一緒に働いているのか見て知ってほしいという、私の気持ちがあります。現在はコロナ禍であり開催することが難しいですが、落ち着いた際には、またみんなで集まりたいと思います。

日々の業務の中で、特に私が好きなことは、工事が完成した時の現場監督の顔を見ることです。どの現場においても、無理難題はつきものです。しかし、それらを1つ1つ解決し、やり遂げた時の達成感に満ちた表情は、なんとも言えないものがあります。

会社の歴史は浅いですが、これからもお客様と真摯に向き合い経験してきたことを活かし、社員一丸となって、これから先の時代に向かって羽ばたき続けていきたいと思っています。

今回は東建設株式会社 代表取締役社長 東久人さんにご挨拶をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

(株式会社白原組 代表取締役社長 白原 誠)

今月の「輝き！」さん

No. 71



株式会社杉本工務店 はるね
坂口陽音さん

所属：土木部
経験年数：2年
年齢：20歳

今月は中能登町の株式会社杉本工務店に坂口陽音さんを訪ねていろいろお聞きしました。

ー最初にあなたの会社について教えてください。

私が勤務する株式会社杉本工務店は創業が昭和29年で現在社員数28人（内女性技術者3人）の主に建築、土木工事を主体とした会社です。

ーあなたの経歴、入社の際について教えてください。

私は中能登町生まれで、平成31年3月に羽咋工業高校を卒業しました。土木を選んだのは地元の建設会社に就職して地元の町づくりに貢献できると考えたからです。2年生の時に建設業関係の方との意見交換で実際の仕事のお話を聞くことができ、大変参考になりました。今の会社を選んだのは、インターンシップでお世話になったときに、地域に密着して家や構造物などまちづくりを行っているところと、親切でアットホームな雰囲気に惹かれたからです。

ー会社での担当業務について教えてください。

入社して4月で2年になります。今の仕事は小規模な工事の積算や工事関係書類の作成、また、先輩の補助として河川工事や圃場整備の現場も担当しています。

入社後すぐに丁張をかける作業がありましたが、基準高を確認するためのレベルや距離や角度を用いる光波測量機器などは、高校のころからよく使用していたので、すぐに現場でもその経験を活かすことができました。

ー仕事で苦労したこと、やりがいを感じたことはありますか？

入社したころは、聞きなれない専門用語が多く大変でした。仕事の内容もやり方もわからず不安でしたが、先輩に教えてもらいながら少しずつ仕事を覚えることができました。最近では自分で出来ることが増え、部分的ではありますが仕事を任されることが多くなり、すごくやりがいと自信が持てるようになりました。

現在、圃場整備事業の現場補助をしていますが、圃場整備工事は函渠やパイプラインの工事など工種が多く全体的な事業なので勉強になります。下請けさんも多く、最初は下請けさんとのコミュニケーションが苦手でしたが、今は少しずつ取れるようになりました。

ー今後の女性活躍に対して希望や抱負をお聞かせください。

女性技術者の先輩がいるので、仕事の仕方や生活との両立などについて教えてもらいながら成長していきたいです。

当面の目標は2級土木施工管理技士の資格を取ることです。仕事に必要な資格を一つでも多く取得して、どんな現場でもこなせる人材になりたいと思います。まだ入社して2年目なので日々勉強だと思っています。将来は立派な現場監督になりたいと思います。

ー余暇の過ごし方、趣味は何ですか？（学生時代のクラブ活動、現在やっていることは？）

羽咋工業高校の時はヨット部に所属していました。仲間とともにインターハイ、福井国体にも出場し、入賞（5位）しました。休日は家族や友人と買い物をしたり、定期的にジムに通ったりしています。

青年団などの地域活動にはまだ入っていませんが、これからは少しずつ地域活動にも参加していきたいと思っています。

HELL FIVE
SYSTEM

けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

おすすめ
vol.9
県政出前講座

今月のテーマ

石川県の結婚支援

石川県健康福祉部少子化対策監室

未婚化・晩婚化が進行する一方で、多くの若者が結婚を希望しています。県では結婚を希望する若者への支援を実施しています。

結婚を巡る状況

本県における未婚化・晩婚化の状況や、未婚者の結婚に対する意識、「いしかわ結婚支援センター」による取組について紹介します。

結婚を巡る現状

○進む未婚化・晩婚化

石川県	H7	H27
未婚率 (35～40歳)	男性：6人に1人 女性：15人に1人	3人に1人 5人に1人
平均初婚年齢	男性：28歳 女性：25.8歳	30.7歳 29.1歳

男女とも
+3歳

○未婚者の約6割が結婚を希望

※県民意識調査 (H30)

市町・企業と連携して結婚支援を推進する拠点として「**いしかわ結婚支援センター**」を開設 (H28.4)

官民一体で結婚支援に取り組む



出会いの機会の提供

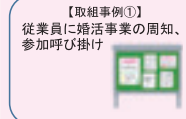
具体の事業として、「縁結びist」による支援や、「いしかわ婚活応援企業」の認定・活動支援について説明します。

出会いの機会の提供

○結婚相談やお見合いの仲介を行う「**縁結びist**」による支援
縁結びist数 523人 (R2.3) 成婚数 999組 (H17～R2.3)

○従業員に対する結婚支援の情報提供や出会いの機会に取り組む「**いしかわ婚活応援企業**」を認定 214社 (R2.3)

- ・企業の結婚支援の旗振り役である「いしかわ企業版アドバイザー」を選任
- ・アドバイザーは県の結婚支援の情報提供や企業間交流会の開催等に取り組む



いしかわ結婚支援センターが、企業の活動をしっかりサポート

・アドバイザー向け研修・ライフプラン講座の講師派遣・企業間交流会のマッチング等

出会いの機会の提供

婚活イベント専用サイトや、「いしかわ縁結び応援隊」による取組について説明します。

出会いの機会の提供

○いしかわ結婚支援センターHP内に**婚活イベント専用サイト**を開設 (R2.11月～)

- ・婚活イベントの情報発信及び参加申込受付 (県主催イベントはじめ、アウトドア体験などの多彩なイベントを掲載)
- ・イベント参加希望者はスマホから簡単に参加申込可能

⇒マッチングしたカップルの交際支援、成婚まで後押し (「縁結びist」によるメール相談、「婚活パスお試しクーポン」の提供)



○若手著名人やスポーツチームを「**いしかわ縁結び応援隊**」に委嘱

【若手著名人】
ふんぶんボウル、月亭方角

【スポーツチーム】
ツエーゲン金沢、石川ミリオンスタース、金沢武士団、北國銀行ハンドボール部 Honey Bee、PFUブルーキャッツ、金沢学院クラブ、ヴィンセールド白山



「婚活パス」による支援

結婚の際の経済的負担の軽減を図る「婚活パス」事業について説明します。

「石川しあわせ婚応援パスポート制度(婚活パス)」による支援

経済的負担の軽減

社会全体で結婚を応援する気運の醸成



特典・サービス提供 (結婚前後の2年間)



協賛店舗数 約700店舗

- ・結婚式、披露宴代の割引
- ・新居の賃貸・購入に係る費用の割引
- ・住宅ローン金利優遇、新婚旅行代金の割引 など



結婚支援事業のお問合せ：いしかわ結婚支援センター ☎076(255)1535

県政出前講座について

【テーマは何種類？誰が説明？】

県政出前講座では、上記で紹介したテーマの他、155件のテーマからお好きなテーマを選ぶことができます。説明は各テーマ担当課職員(県庁職員)が説明します。今年度より講義と施設見学をセットにした講座を追加しました！

【費用と所要時間は？】

職員の派遣に関する費用(旅費・軽微な資料代など)は、不要ですが、会場は申込団体でご用意ください。講座の所要時間は1時間から1時間30分程度です。

【受講する人員は？】

おおむね10人以上から受講できます。

【申し込み方法は？】

石川県ホームページから (<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/demae/>) 詳しい申し込み方法をご覧ください。パンフレットをお求めの方は、石川県広報広聴室までお問い合わせください。

パンフレットをお求めの方は、石川県広報広聴室までお問い合わせください。

(石川県広報広聴室 電話：076-225-1362 メール：e130500b@pref.ishikawa.lg.jp)

協会だより

地区協会事務担当者説明会の開催

令和2年度地区協会事務担当者説明会を、県内9地区協会203名出席の下、開催した。

日程

- 1月26日(火) 珠洲地区 (15名)、鳳輪地区 (35名)
- 1月27日(水) 七尾地区 (22名)、羽咋地区 (12名)
- 1月28日(木) 加賀地区 (14名)、小松地区 (27名)
- 1月29日(金) 白山地区 (15名)、金沢地区 (47名)
- 2月 2日(火) 河北地区 (16名)

プログラム

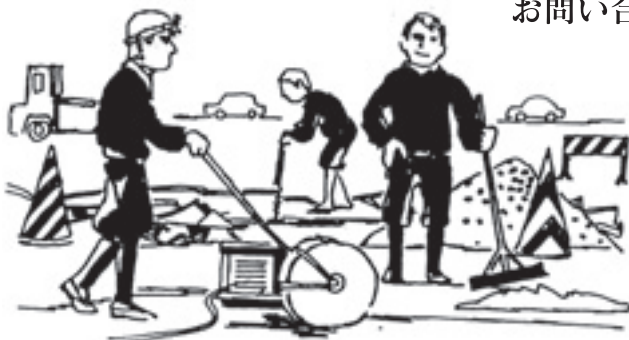
- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. ①建設業における法令遵守について
②入札・契約制度について | 石川県土木部監理課 |
| 2. 全建協連総合補償制度について | 損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社 |
| 3. 東日本建設業保証からのご案内 | 東日本建設業保証株式会社 石川支店 |
| 4. 高齢者の雇用の為の助成金について | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 石川支部 |
| 5. 法定外労災補償制度について | 一般社団法人 石川県建設業協会 |
| 6. 建退共制度について | 一般社団法人 石川県建設業協会 |



不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20
中屋三井ビル2F

委員会の開催

土木委員会

◎役員会の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、1月21日（木）にKKRホテル金沢において、役員会（第3回）を開催した。

今回は2月10日（水）に行う「金沢河川国道事務所との意見交換会」の提案議題について審議を行うものである。会議では、会員企業から寄せられた入札契約関係や総合評価関係、設計積算関係、施工関係、監督検査などに関する議題について項目毎に審議を行い、10議題を意見交換会の提案議題として選定した。



土地改良委員会

◎第2回技術検討部会の開催

令和2年度第2回技術検討部会（部会長 小柳 誠）が、1月22日（金）午前10時30分から、石川県建設総合センター401会議室で、小柳部会長以下16名の部会員と事務局出席のもと開催された。

小柳部会長の開会挨拶に続き、2月19日（金）に開催予定の「県農林水産部との意見交換会」に向けた要望事項（案）について検討を行い取りまとめた。また、今年度の農政局及び県農林水産部等への施策提案（意見交換）の状況等について報告した。



広報・研修委員会

◎全体会議の開催

広報・研修委員会（委員長 高田直人）は、1月18日（月）午後4時からホテル日航金沢において、令和2年度第2回全体会議を開催した。冒頭、高田委員長は、「コロナ禍において、観光・飲食業界は大変厳しい状況になっている。建設業界は、今のところ大きな影響は見られないものの今後の感染拡大の推移によっては決して楽観できない。本日は、今年度第2回の全体会議となるが、委員の皆様には、建設業協会の対外的広報力の強化並びに効果的な研修事業の推進に引き続きご尽力をお願いしたい。」と挨拶。その後、次の事項について審議・報告が行われた。



1 協会報2月号について

事務局から、令和3年2月号の編集計画が説明され了承された。

2 研修所からのお知らせ

事務局から、令和2年度第3回登録解体工事講習の開催結果が報告された。

3 今後の広報活動について

事務局から、これまでに開催された「今後の広報の在り方に関する検討会」の検討内容・結果等について報告するとともに、(株)橋本確文堂から、「協会報のデジタル化」に関するプレゼンテーションが行われた。

建設青年委員会

◎正副委員長会議の開催

建設青年委員会（委員長 北川隆明）は、1月18日(月)午後2時より、ホテル日航金沢において正副委員長会議を開催した。

当日は、コロナ禍の中で奮闘されている医療従事者の方々に対する支援事業について話し合いが行われた。医療従事者に負担をかけるためにも、建設業界から感染者を出さないことが一番大切であり、会員企業に対して感染拡大防止対策を更に徹底する取り組みを進めるため「新型コロナウイルス感染防止アクション宣言」を行うことを決めた。

具体的な取り組み（案）は下記のとおり

- ・企業・現場事務所・工事看板等へのアクション宣言ポスター・ステッカーの掲示
- ・ヘルメットへの啓発シールの貼り付け
- ・医療従事者に感謝・応援メッセージを添えたチョコレートの贈呈



石川県土木施工管理技士会だより

JCMセミナー（DVD講習会）の開催

石川県土木施工管理技士会（会長 鶴山庄市）は、1月28日(木)に石川県建設総合センター7階大ホールにおいてJCMセミナー（DVD講習会）を開催した。

この講習会は、DVDによる講義（仮設構造物（土留め工）の設計セミナー、コンクリート施工で失敗しないための講座）を受講することにより、CPDSが6ユニット付与される。今回は、28名の参加があり、出席者は熱心に聴講していた。



国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

令和2年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

「建設業で働く誇り」

株式会社吉光組 竹本悠華

私は地元の工業高校を卒業後、当社に就職しました。入社間もない頃は、「建設業で働く」という感覚はあまりなく、先輩から依頼を受けた仕事に取り組むことだけを考えているような日々でした。

そんな中で、私が今でも印象に残っている出来事は、一年目の秋に起こった台風です。大雨警報や土砂崩れへの注意を呼び掛けるニュース、地域放送が流れていました。当社にも小松市から、土嚢袋製作要請の連絡があり、グループメールにて人員の募集が呼び掛けられました。私も製作が行われている倉庫へ向かいました。倉庫に着いた頃には、もうすでに協力会社の方たちを含む社員の皆さんが集まっていて、重機に乗って土を入れる人、土を袋に詰める人など、役割分担がなされていました。私は土を詰めるグループに入って作業を行いました。協力会社の方たちや先輩方に教えてもらいながら、土を土嚢袋に詰めました。

そこにいて実感したのは、会社のチームワークと緊急時の機動力です。連絡を受けて数時間しか経っていないにもかかわらず、たくさんの方が集まっていて、手際よく、声を掛け合いながら作業をこなしている先輩たちは、とてもかっこいいと思いました。また当社では、部署に関係なく、お互いが大変な時期には、助け合って仕事をしています。この台風の時も、建築部の人が応援に来て下さっていて、より速く、作業が進んでいたと思うし、このコミュニケーションの良さが、迅速な対応に繋がっていると実感しました。

私は今まで、大きな災害に遭ったことがありま

せん。今、建設業で働くようになって思うことは、先輩たちが、河川の増水時に土嚢袋を作って緊急処置を行っていたことや、そういった自然災害に備えた堤防強化のための工事を行っていたおかげで、私たちは自然災害から身を守られていたということです。その先輩たちと同じく、建設業で働いているということに誇りを感じます。

河川整備工事が進んでいることで、これから先、以前と同じような増水による被害は少なくなってくるかもしれません。災害が起こらないに越したことはありませんが、近年異常気象などによって、日本各地で被害を受けている方たちをよく目にします。そんな中、私たちは緊急事態となったとき、チームワークと機動力を活かし、臨機応変に対応していかなければならないと思います。そして、コミュニケーションの輪を、自社だけに留まらず、地域の建設業者間や自治体にも広げ、もっと大きな輪を築いていけたら、より地域の安全が守られるのではないかと思います。

私自身、入社四年目を迎え、入社当時では指示を受けてから取り組んでいたことも、今では自ら気付いて取り組めるようになったと実感しています。地元の高校生を招いた現場見学会などで、現場のことを説明する機会なども増えました。またそういった機会があるときには、今改めて感じている「建設業で働く」という誇りを持ってこの仕事の魅力を伝えたいと思うし、より一層、この仕事で活躍できるよう頑張っていきたいと思いません。

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

令和2年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

「地域の暮らしを守る影のHERO ～自己PRが苦手な人達～」

白山建設株式会社 あきひと 田中陽人

近年、異常気象が続く数十年に一度と言われる大雨や豪雨のニュースを見る機会が多くなってきた。幸い私の住む北陸は、霊峰白山のおかげで台風が来ることは少なく地震も少ない。近年は雪が積もることも少なく徐々に除雪の回数が減り災害とは無縁に近い地域だと思っている人は少なくないと思う。

しかし、3年前の北陸豪雪といわれている大雪時には多くの方が大変な思いをした。幹線道路は大雪により立ち往生したトラックや車で大渋滞となり、物流はとまり物資が届かず、山村地域では外に出られず屋根に積もる雪に家が押しつぶされるか怯えながら過ごしていた方もいた。私の会社も、除雪に出動して地域の方の車が通れるように、また、緊急車両が必要な時にはいち早く現場へたどり着けるように「地域のライフラインを守る」という先輩の意思を引継ぎその使命感で作業を行っていた。その時は一時的に「HERO」として報道等にスポットで取り上げられた。しかし、それらは一時的なものであり時がたてば忘れられてしまう。災害時の報道では、自衛隊やレスキューがよく取り上げられているが、陰では道路に倒れた倒木処理、土砂崩れでは重機を動かし道路の復旧作業等これらは主に地域の特質を熟知した地元の建設会社を中心となり、各行政機関と相談しながら作業をしている。建設業は、地域に住んでいる方々が安心して「普段通りに過ごせる」ために欠かせない業種でありながら中々スポットが当たらない影のHEROだ。

私たち影のHEROは災害の予防策としての工事を行っている。近年の洪水対策として、河川の掘削工事や堤防の嵩上げ、強化、土砂災害から街を守る砂防堰堤工事や法面工事、公共施設の耐震化工事等だ。これらの工事はあまり陽の当たる工事ではなく、もくもくと工事を行っている。中には災害対策として何十年もかけて行っている工事もある。暮らしを守るためにとても必要で大事な工事だ。地域の「普通の暮らし」を守る、その使命感とやりがいは言葉には表せないものであり、地域を支える縁の下の力持ちとなり、まさに影のHEROだと私は思う。

冒頭で災害とは無縁に近い地域と述べたが、歴史を辿ると昔はそうでもなかった。白山から流れる一級河川の手取川は暴れ川と言われ氾濫し甚大な被害をもたらしてきた。白山でも土砂災害が絶えず多くの被害があったとき。そんな時代にも先人の先輩方は地域を守る為に様々な工法で対処

してきた。そのおかげで現在は安心して暮らせる街へと変わっている。しかし、最近では想像できないほどの気象現象が起きており決して安心のできる状況ではない。今、一番必要なのは少しでも早く地域の特質性を熟知した先輩から技術、知識を継承することが何よりも大事であることと同時に、ICTをはじめ年々進化する様々なシステムを駆使し安全な形での工法・技術の構築だと思う。しかし、働き手不足が深刻化している。匠な技術をもった方は高齢化し、若い方には建設業への人気無く、技術、知識の継承が困難で深刻な状況となっている。なぜこんな状況になったのかを考えてみると一つの答えが見えてきた。それは、この業界は自己PRが苦手な人達が多いのではないかと思った。実は私自身3年程前まで自動車販売の営業をしていた。カタログを手に持ち「形」あるものを販売していた。それが全く畑違いの建設業へ転職し、営業に変わりはないがカタログ＝図面を手に「形」を作る側へと変わった。様々な現場を見るうちに図面が形になっていく姿に圧巻と感動を体感した。人は不思議なもので、自分の体感したことなど人に伝えたくならないものが、この業界の方々はどうもそれが不得意なようだ。

1対1で話すと、難しい現場で職人さんと苦労や失敗を繰り返しながら現場が完成した時の話は目をキラキラしながら話してくれる。またICTで施工した現場担当は、今まで苦労した経験がある分ICTの素晴らしさや、これからの現場への期待をワクワクしながら話し、職人さんから「また一緒に現場したいね」と言われたときは仕事冥利に尽きると言った。そして皆が共通して言うことは「なんとも言えない満足感」という。私が「具体的には？」と聞くと「うまくは言えない」という。実は内心では満足感でいっぱいだが、皆現場が完成しても喜びと感動を顔には出さない。どうもそれがカッコいいと思っている。これが原因だ。時代は変化し各業界はSNSを駆使し様々な形で魅力発信をしている。しかし、ここでは「うまく言えないからアピールしたくない」という感じがある。影のHERO達は自己PRが苦手なんだと思った。

だから私は代わりに影のHERO達の活躍を幅広く多くの方々に伝えていきたい。地域の暮らしを守るために建設業は不可欠だ。「なんとも言えない満足感」を共有し形としてSNS等でも発信し続け、私は影のHEROの一員としてこの仕事を続け地域の暮らしを守っていきたい。

業界時報

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和2年分）

令和2年12月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	① 9	(13) 32	19	① (13) 60	① (18) 58	⑤ 612
小松監督署	10	(5) 12	2	(5) 24	① (5) 30	241
七尾監督署	9	(6) 10	① 2	① (6) 21	① (6) 22	③ 123
穴水監督署	6	(1) 3	1	(1) 10	(2) 12	75
計	① 34	(25) 57	① 24	② (25) 115	③ (31) 122	⑧ 1,051
前年同期	③ 39	(31) 63	20	③ (31) 122		⑦ 1,011

() 内は木建工事 ○内は死亡者数

令和2年度 建設工事受注高調（元請）

民間

(単位100万円)

	土 木			建 築			計		
	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%
10月分	179	160	111.9%	1,032	4,877	21.2%	1,211	5,037	24.0%
11月分	85	139	61.2%	1,497	1,921	77.9%	1,582	2,060	76.8%
12月分	110	183	60.1%	1,033	1,089	94.9%	1,143	1,272	89.9%
年度累計	1,502	2,390	62.8%	13,050	19,648	66.4%	14,552	22,038	66.0%
30年度累計		2,551	58.9%		20,344	64.1%		22,895	63.6%
29年度累計		3,377	44.5%		23,640	55.2%		27,017	53.9%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%
10月分	4,589	3,722	123.3%	682	399	170.9%	5,271	4,121	127.9%
11月分	2,457	3,538	69.4%	6,665	496	1343.8%	9,122	4,034	226.1%
12月分	2,493	3,552	70.2%	1,194	1,853	64.4%	3,687	5,405	68.2%
年度累計	34,331	37,038	92.7%	22,265	12,798	174.0%	56,596	49,836	113.6%
30年度累計		31,601	108.6%		9,010	247.1%		40,611	139.4%
29年度累計		29,679	115.7%		16,888	131.8%		46,567	121.5%

合 計（民間+官公庁）

	令和2年度	令和元年度	%		令和2年度	令和元年度	%
10月分	6,482	9,158	70.8%	年度累計	71,148	71,874	99.0%
11月分	10,704	6,094	175.6%	30年度累計		63,506	112.0%
12月分	4,830	6,677	72.3%	29年度累計		73,584	96.7%

会員の異動

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出をお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和3年2月行事予定

- 2月 2日(火) 事務担当者説明会 (河北郡市土建協同組合)
 3日(水) 情報共有システム体験会
 (金沢市立工業高校 土木科)
 北陸地方建設事業推進協議会4部会(書面開催)
 8日(月) 北陸青年会議 整備局長との意見交換会(新潟)
 9日(火) 正副会長会議
 常任理事会
 10日(水) 会報編集委員会
 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会
 (ANAクラウンプラザホテル金沢)
 12日(金) 広報・研修委員会 企画部会
 新型コロナウイルス感染防止アクション宣言
 医療従事者への支援
 15日(月) 全建 総務委員会(リモート)
 工事安全施工管理技術研究発表会
 (金沢河川国道事務所)
 情報共有システム講習会(～16日)
 (羽咋都市建設業協会)
 16日(火) 北陸地方整備局との意見交換会
 (ANAクラウンプラザホテル金沢)
 17日(水) 石川県交通安全推進協議会
 (石川県地場産業振興センター)
 18日(木) 情報共有システム講習会(～19日)
 (七尾鹿島建設業協会)
 19日(金) 土地改良委員会 県農林水産部との意見交換会
 (金沢ニューグランドホテル)
 22日(月) 情報共有システム体験会
 (小松工業高校 建設科)
 24日(水) 第2回石川県建築審査会 (石川県庁)
 25日(木) 石川県産業教育振興会第2回理事会並びに表彰式
 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)

令和3年3月以降の行事予定

- 3月 1日(月) 第3回土地改良委員会役員会
 2日(火) 北陸地方建設事業推進協議会 運営委員会
 (北陸地方整備局(開催方法検討中))
 4日(木) 正副会長会議
 5日(金) 石川県共同募金会 配分委員会
 (石川県社会福祉会館)
 金沢港振興協会理事会
 (金沢ニューグランドホテル)
 10日(水) 全建 労働委員会(リモート)
 全国建産連 総務委員会
 12日(金) 産業廃棄物講習会
 4月 5日(月) 正副会長会議
 常任理事会
 6日(火) 新入社員研修(～7日)
 6月 8日(火) 全建 総会 (東京 経団連会館)
 11日(金) 測量コンテスト(予備日:18日)
 (金沢ものづくり会館)
 7月13日(火) 全建 社会貢献活動中央行事
 (東京 経団連会館)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
 ②投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
 ③協会報の発行 毎月1日発行
 (毎月10日前後納入、会員送付)
 ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161(代)内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 2月 1日(月) 監理技術者講習会
 9日(火) 青年委員会：情報発信セクション
 16日(火) 現場責任者研修会
 17日(水) 青年委員会：技術防災セクション
 19日(金) 青年委員会：幹事会
 建築部会：金沢市建築職員とのコネクトコンストラクション
 26日(金) 企業経営者・後継者等研修会
 青年委員会：全体会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 2月中旬 役員会

《お知らせ》

- 3月上旬 建災防加賀分会 安全パトロール
 下旬 役員会

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 2月19日(金) 建設業労働災害防止及び働き方改革に係る説明会
 24日(水) 監理技術者講習会

《お知らせ》

- 3月14日(日) こまつ水辺クリーンデー

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 2月24日(水) 総務委員会
 26日(金) 理事会

《お知らせ》

- 3月 2日(火) 献血活動
 4日(木) 翠星高校との意見交換会

河北都市土建協同組合

《行事予定》

- 2月 2日(火) 事務担当者説明会

(一社)羽咋都市建設業協会

《行事予定》

- 2月 9日(火) 定期健康診断（羽咋市シルバー人材センター）
 15日(月) 情報システム講習会（～16日）
 22日(月) 役員会

《お知らせ》

- 3月 4日(木) 監理技術者講習会
 下旬 役員会
 県管理河川の堤防・護岸点検パトロール

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 2月 2日(火) 監理技術者講習会
 17日(水) 七尾労働基準監督署による建設業に対する労働時間等説明会（七尾サンライフプラザ）
 18日(木) 情報共有システム講習会（～19日）

《お知らせ》

- 4月 7日(水) 監理技術者講習会
 12月 2日(木) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 2月17日(水) 理事会
 18日(木) 建設業に対する労働時間等説明会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 2月19日(金) 理事会
 24日(水) 監理技術者講習会

関係機関からのお知らせ

CIIC一般財団法人建設業情報管理センターより

お知らせ

国土交通省では、規制改革推進に伴い「押印を求める手続の見直し等のための国土交通省関係省令の一部を改正する省令」を令和2年12月23日に交付し、令和3年1月1日から行政機関への申請等に際して押印を求めている手続きについて、押印を不要とする等の所要の改正が行われました。

これに伴い、当財団にご提出いただく「経営状況分析申請書」については、押印が不要となりましたのでご案内申し上げます。併せて、分析申請に係る各種提出書類等についても押印を廃止いたしました。

但し、行政書士の方が代理人として申請される場合は、従来どおり代理人の記名・押印が必要となりますので、ご注意ください。

詳しくは 当財団ホームページ <http://www.ciic.or.jp/> からご確認ください。